

「アートフルタウン大垣 2013」 in IAMAS OS ～「進展」～

1. イベント趣旨

2012 年に行われた岐阜国体の会期中に大垣を訪れる国体関係者や観光客の方々にアートを楽しみながら中心市街地をゆっくり周りながら、大垣での思い出作りや観光推進、また平成24年4月にオープンした奥の細道むすびの地記念館への誘客を目的に「アートフルタウン大垣 2012」が開催され、今年も引き続き大垣市民を対象に本イベントが開催されることとなった。
イベント会期中はスタンプラリーも行われ、各会場前にスタンプ台が設置される。

2. IAMAS の参加

中心街に位置する現 IAMAS OS もこのイベントの会場の一つとなっており、そこでの IAMAS からの出店を依頼された。そこで、過去の作品展示、ワークショップなど形態は自由で有志を募った。

3. 開催日時

平成25年10月4日（金）～11月4日（月祝）
10:00～16:00

4. 場所

IAMAS OS（新大橋角の花屋さんの隣）

5. 参加有志

修士1年 浅羽昌二
修士1年 高畑慧
修士1年 鍋谷美華

6. 内容計画

<展示>

私たち有志三名は岐阜県外の出身で、今年の4月に大垣に越してきたということもあり、私たちのような「よそ者」が大垣で生活する中で目に止まったり、面白と感じた大垣の建物、看板、アイコンなどを切り取り、影絵を使って独自の大垣の町を作っていく。最終的にどのような町並みが出来上がるかは進めていかないと誰にも予知することはできず、会場に来る大垣の方も、”ありえたかもしれない”新しい大垣の姿を見ることができる。大垣の町をよく見ている方に、**私たち独自の目線でとらえ構築した新しい大垣の姿**を展示する。町並みには町を行き交う人々の影絵をプロジェクションし、また大垣の人々の声を集め、声の数が増えるたびに人の影も増えていくという、市民参加型の作品を目指す。これらを1ヶ月という開催期間を使い毎週土日に展示内容が進んでいく**「ワーク・イン・プロGRESS」**で行う。

<導線>

このイベントは、スタンプラリーも同時に開催されており、会場の中をゆっくり見る方もいればスタンプだけ押しにやってくる方もいるとのことで、会場の中にできる限り入ってもらうための仕掛けを作る。IAMAS OS は立地が少し奥ばっているので、入り口の外側から中へ引き込む導線を作る。紐で四角い枠組を会場の奥へ向かって何層も作り、外から会場内に紐枠でできた道を貫通させる。その先にスタンプ台を置き、会場内に入らないとスタンプを押せないこととする。上記の影絵の展示はこの導線の片側の壁にプロジェクションする。